

留 学 報 告 書

留学先国	イギリス
留学先高等教育機関名	オックスフォード大学ハートフォードカレッジ
留学期間	2019年10月～2020年3月
留学を開始した時の学年	2年生

留学費用（概算）

授業料（プログラム費用）	2,970,000円
保険料	49,710円
宿舍費（1か月あたり）	891,000円
食費（1か月あたり）	ミールプラン
渡航旅費	327,510円

滞在形態関連

1) 種類
寮。
2) 部屋の形態
個人部屋。
3) 設備
シャワー、トイレ、キッチン、ランドリー、インターネット、食堂。
4) 住居を探した方法
留学先大学の指定。

現地情報

1) 大学内の医務室／診療所や付属の病院などで医療サービスを受けることは可能でしたか？
はい。
2) 現地で病院にかかったことはありますか？

いいえ。
3) 保険について、現地の医療保険に加入しましたか？
いいえ。
4) 留学にあたり、必須の予防接種はありましたか？
はい。C型髄膜炎ワクチン。
5) 学内外で問題が発生したときは、誰に相談しましたか？
留学先の友人、大学の留学担当窓口。
6) 現地の治安はどうでしたか？また、現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか？また、実際に窃盗等を含む犯罪に巻き込まれた場合、どのように対処しましたか？
イギリスでは比較的安全という印象でした。旅レジやニュースを情報源としていました。
7) パソコン、携帯電話、インターネット接続について、現地での利用はいかがでしたか？
寮や教室での接続は良かったのですが、屋外では不安定でした。
8) 現地での資金調達はどのように行いましたか？
クレジットカードを主に利用し、現金は空港で両替したものを使用しました。
9) 利便性、買い物はどうでしたか？また現地では調達できない日本から持っていくべき物がありますか？
大通りやショッピングモールが近く、利便性は高かったと言えます。主にクレジットカードを利用しました。白米、出汁はあって困らないかと思います。
10) 授業料（またはプログラム費用）は、どのように支払いましたか？
クレジットカード。
11) その他、生活等に関して参考となることがあれば教えてください。

渡航について

1) 現地空港から滞在先まで、どのようにして向かいましたか？
留学先大学のピックアップサービス
2) 到着後にオリエンテーションはありましたか？あった場合、どれくらいの期間行われていましたか？
はい。1日間キャンパスツアーがありました。

学習・研究活動についてのレポート（履修した科目ごとに記入してください）**履修した授業科目名**

English Language Focus

授業内容や試験、授業を受けた感想について

文法とボキャブラリーに重点を置いた授業。基本的に座学。一学期の試験の主な出題範囲。受験期に苦悩した箇所の復習の機会となった。

履修した授業科目名

Academic Writing

授業内容や試験、授業を受けた感想について

学術的エッセイの書き方を学ぶ授業。座学。一学期は試験はなく、主にエッセイの書き方について説明を受ける。二学期は実際に週に一回エッセイを提出し、学期末に500文字のライティングテストがある。二学期から少々忙しさを感じた。

履修した授業科目名

Exam Focus

授業内容や試験、授業を受けた感想について

TOEIC か IELTS か選択ができる。主に上記のテスト対策として練習問題を解いたり、頻出語句の学習をする。習熟度によって難易度に差異が出る授業という印象を受けた。一、二学期末に練習問題のテストを行う。

履修した授業科目名
Business Language Focus
授業内容や試験，授業を受けた感想について
二学期のみ開講。主にビジネス用語について勉強する。経済，経営を学んでいる学生が有利に感じた。二学期の主な試験範囲。

履修した授業科目名
Lectures
授業内容や試験，授業を受けた感想について
英国文化から産業，経済についての，教員のプレゼンテーションを聴講する授業。知識によって興味深い物も難解な物もあるという印象を受けた。授業前に事前学習の課題が配布される。試験は二学期において Business Language Focus と被る範囲を出題。

履修した授業科目名
Tutorial
授業内容や試験，授業を受けた感想について
自習時間。その間に，一人ずつ別室に呼ばれ，教員と一対一で習熟度についての話し合いや相談をする時間でもある。苦手分野についての相談が出来る良い機会という印象を受けた。

履修した授業科目名

Guided Study
授業内容や試験，授業を受けた感想について
毎週金曜日にある自習時間。課題やエッセイ，プレゼンの準備，発表に備える時間として有効であると感じた。

履修した授業科目名
Current Affairs
授業内容や試験，授業を受けた感想について
ニュースの記事を一人一人持ち寄り，それを用いて生徒自らが授業を行う。授業は単語テスト，記事の読解，ディスカッションで構成される。一見難しそうに思うが，想定していたよりは容易であった。試験はない。

履修した授業科目名
Social English/Pronunciation
授業内容や試験，授業を受けた感想について
英米での発音の違いを始めに，様々なトピックを用いて，それらのボキャブラリーを学ぶ。Lectures 同様難易度の差を感じたが興味深かった。試験はない。

履修した授業科目名
Idiomatic Language
授業内容や試験，授業を受けた感想について

身体の部分、動物といったテーマに沿って様々なイディオムを学ぶ。ゲーム方式も取り入れた授業で、系統が違う印象を受けた。試験は二学期において Business Language Focus と被る範囲を出題。

留学体験記

<p>留学しようとした理由や、この留学先を選んだ理由</p>	<p>私が留学をしようと思った理由は、当初は漠然と留学に対して憧れを持っていたからです。私は小さい頃から、留学をしてみたいと思っていました。やはり言語は現地で学ぶべきだろうという、文字通り、「百聞は一見にしかず」という考え方も、留学を後押ししていました。私がオックスフォード大学ハートフォードカレッジに留学を決めた理由は、まず身内にケンブリッジ大学に留学していた者がおり憧れていたということと、文学に興味があるという理由からでした。</p>
<p>留学のためにした準備、しておけば良かったと思う準備</p>	<p>留学が決まってからすぐに、取りあえず渡英経験のある身内にアドバイスを求めました。その後は主に冬物の洋服とインスタントの日本食を用意しました。また、日本から送ってもらう荷物も前もって準備を進めておきました。また、イギリス英語の本の読書や、オックスフォード大学をモデル、舞台とした映画の鑑賞などで現地へのイメージを掴みました。また、イギリスで人気のあるスポーツ（サッカーやラグビー）などを観戦して、ルール等を勉強しました。</p>
<p>留学中に役立った書籍、ウェブサイト、アプリ等</p>	<p>留学前は主に身内からのアドバイスを参考に、服装はスマートフォンの世界時計やグーグル検索で気温をチェックしました。他には、イギリスに留学している人のブログや帰国報告書を読み、それらの内容をもとに、留学への準備を進めました。留学中は旅レジデントの有無について確認していました。また、ブリティッシュカウンシルの講義などにも積極的に参加し、留学経験のある方々の体験談や、治安、ビザについての説明を受けました。</p>
<p>大学・学生の雰囲気 (職場や同僚の雰囲気)</p>	<p>大学の雰囲気は、一言でいうならば「アットホーム」な印象を受けました。様々なバックグラウンドの教員が授業を受け持ち、また、生徒も様々な国からこのオックスフォード大学に集まってくることもあり、多角的な視点から意見の交換が出来る環境と言えます。また、現地学生曰く、「ハートフォードカレッジは、“ハリポッター”の寮で表すならば“ハッフルパフ”が最も適切だ」とのことから、穏やかな校風であることが分かりました。</p>
<p>滞在先の雰囲気</p>	<p>街全体が大学の集合体であり、「学園都市」という形容が相応しい街並みです。中世の建築物と現代的な建物が混合しているので、まさに「歴史と共に歩んできた、世界最古の大学」です。街はそれほど広くないので、買い物等は簡単にすることが出来ます。店が</p>

	<p>多い大通りは人で賑わっている印象がありました。</p> <p>寮については、私の女子寮（Western 4）はカレッジから徒歩で目と鼻の先の距離に位置していました。内装は寮生の私室が5部屋、トイレとシャワールームがセットになった部屋、リビングルーム、乾燥機の置かれているキッチン、キッチンの扉から屋外に出たところにランドリーのある小屋があります。私室はクローゼット、棚、タンス、鏡付きの洗面台、ベッド、1人がけのソファ、ゴミ箱があり、置いてある物は部屋によって若干異なります。シャワールームについては、立ってシャワーを浴びるスペースのみです。寮によってはユニットバスがあるらしいので、細かい内装は寮によって異なります。</p>
<p>留学先における交友関係</p>	<p>今年度のプログラムの留学生は、大妻女子大学、大妻女子大学短期大学、関西学院大学、明治学院大学、明治大学、新潟経営大学が出身でした。女子が9人、男子が6人と女子生徒が多く、しかし男女ともに社交性のある生徒が多かったです。留学に不安を持っているのは全員同じなので、自分と同じ出身校の生徒が少なくても、勇気を持って話しかければ応じてくれる人が多いと思います。気軽にコミュニケーションをとって友達を作りましょう。</p>
<p>留学中に困ったこと、つらかったこと、大変だったこと</p>	<p>留学中に、これと言って困ったことなどはありませんでしたが、強いていうならば到着してから時差ボケが暫く続いたことです。チュートリアル期間内にだいたいなくなる症状なので、さほど気にするものではありませんでしたが、集中力がきれてしまうので、習熟度を測るテストを受ける留学序盤は、できうる限り体調を管理すると実力を発揮しやすいと思います。また、日本とイギリスでは時差が9時間あり、それによって家族や友達との連絡の不便さを感じることもありました。</p>
<p>留学先における学習、課題や試験</p>	<p>勉学に費やした時間は、主に毎回の授業で出された宿題をこなしながら、それを中心に勉強することで復習の時間としていました。勉強する上で大切にすることは、「できないこと」に対する向き合い方でした。そもそも語学留学は英語を勉強することが目的であるので、言ってしまうと「完璧にできない」ことが当たり前です。故に、私はそういった場面では「出来ないからと言って諦めない」事に重点を置き、肩の力を抜いて、必要以上の悪い緊張を持たないようにしていました。</p>

<p>大学外の活動（課外活動や自由時間など）</p>	<p>課外活動については、私は主に OUJS（Oxford University Japan Society）という、日本語や日本文化に興味のある人達が参加している団体に所属し、私達が教師となって日本語を教える日本語教室や、日本のアニメを観る鑑賞会に出席しました。世界各国から日本について興味を持つ生徒が集まるので、現地学生との交流ができる良い機会でした。また、自由時間については、パブやアフターヌーンティー、またはクライストチャーチなどの観光名所に出かけて行くこともありました。</p>
<p>留学を志す人へメッセージやアドバイス</p>	<p>これから留学を志す人へのメッセージは、「挑戦することを恐れなくて欲しい」ということです。私は留学する前までは、寮生活といえども、独り暮らしの経験がなく、それを極端に怖がっていました。また、それが国外であることも相まって、「留学中に事件に巻き込まれてしまったらどうしよう」、「友達が一人も出来なかったらどうしよう」といったことを、今思えば必要以上に心配していたきらいがありました。確かに危機感を持って行動することは大事ですが、必要以上に怖がってしまうことで、留学という貴重な体験を無碍にしてしまうのはとても勿体なく感じます。私は、この留学を通して自分でやること、出来ることが増えたように感じます。留学は、勉学以外にも生活力を見直す良い機会ではないかと思います。</p>